

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

TOPICS

💡 一般職業紹介状況(令和6年9月分)について

職業安定局 雇用政策課 中央労働市場情報官 発信より

ポイント

- 令和6年9月の有効求人倍率は1.24倍で、前月に比べて0.01ポイント上昇。
- 令和6年9月の新規求人倍率は2.22倍で、前月に比べて0.10ポイント低下。

厚生労働省では、公共職業安定所(ハローワーク)における求人、求職、就職の状況をとりまとめ、求人倍率などの指標を作成し、一般職業紹介状況として毎月公表しています。令和6年9月の数値をみると、有効求人倍率(季節調整値)は1.24倍となり、前月を0.01ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は2.22倍となり、前月を0.10ポイント下回りました。

正社員有効求人倍率(季節調整値)は1.01倍となり、前月と同水準となりました。

9月の有効求人(季節調整値)は前月に比べ0.1%増となり、有効求職者(同)は0.1%減となりました。

9月の新規求人(原数値)は前年同月と比較すると5.9%減となりました。

これを産業別にみると、情報通信業(8.9%増)で増加となり、生活関連サービス業、娯楽業(13.3%減)、製造業(9.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(8.8%減)などで減少となりました。

都道府県別の有効求人倍率(季節調整値)をみると、就業地別では、最高は福井県の1.93倍、最低は大阪府と福岡県の1.05倍、受理地別では、最高は福井県の1.78倍、最低は神奈川県0.90倍となりました。

詳しくはこちら(QRコード)からご確認ください



MEMO

📝 ビジネスひとロメモ

24年上期「今後伸びるビジネス」ランキング

日経クロストrendは、マーケティング・消費・テクノロジーの3分野の最新潮流を把握する目的で調査し、「将来性」と、「経済インパクト」の2軸で評価したまとめを公表。注目すべきは、新たに「CRM」と「AI」が、近未来の高収益性に移行と予測している点です。

	分野	順位	キーワード	スコア
将来性	マーケティング	1位	EC(ネット通販)	4.50
		2位	CRM(顧客関係管理)	4.40
		3位	CX(顧客体験)	4.34
	消費トレンド	1位	キャッシュレス決済(QRコード決済など)	4.37
		2位	インバウンド消費	4.10
		3位	共働き	4.06
テクノロジー	1位	生成AI(ChatGPT, Copilot in Windowsなど)	4.74	
	2位	AI(人工知能)	4.70	
	3位	遠隔医療	4.16	
経済インパクト	マーケティング	1位	EC(ネット通販)	4.47
		2位	CRM(顧客関係管理)	4.07
		3位	CX(顧客体験)	3.78
	消費トレンド	1位	キャッシュレス決済(QRコード決済など)	4.20
		2位	共働き	3.65
		3位	インバウンド消費	3.61
テクノロジー	1位	スマートフォン	4.61	
	2位	クラウド	4.31	
	3位	AI(人工知能)	4.00	

INFO

📍 事務局より

「ヒューマンライブラリーOKAYAMA」開催



当組合の大供教育センター(岡山市北区大供)にて、イベントを開催しました。ヒューマンライブラリーとは、他者のストーリーを聞くことを通して、多様性やインクルージョンを推進する取り組みとしてデンマークで始まり、日本国内でも行われています。10月27日、岡山での開催にあたり外国人就労を支える当組合もこの活動に賛同し、岡山大学講師をはじめとする実行委員会に会場をお貸しました。